

## 第3回研修会

# 「2025年の高知家の医療・介護・福祉は!？」

～私たちの現場や、住民生活を包括的に考えよう～

### <開催趣旨>

平成24年の介護報酬改定以降、老人保健施設の担う役割として、在宅復帰と在宅支援が最重要とされています。これは老人保健施設創設以来の役割機能の柱であり、またこれからの地域包括ケアと医療機能強化や在宅医療の充実にも不可欠な役割となっています。そして何よりも、要介護高齢者とそのご家族が安心して住み慣れた地域で暮らしていくためには、他機関と共に地域のニーズを的確に捉え、リハビリケアや認知症ケア、ターミナル期のケアを含めた在宅が支援できる施設としての本来機能を発揮していかなばなりません。

そこで今年度は、介護老人保健施設の在宅復帰と在宅支援の資質向上と県内各地域における地域包括ケア体制の充実に向け、日頃お世話になっている関係機関、関係職種の皆様方にもご参加いただき、3回シリーズでの研修会を開催しています。

平成29年度末には、介護療養病床と医療療養病床(25:1)が設置期限を迎えることとなっています。これからの高知家の医療マップのイメージは!？地域包括ケアの中での医療・介護連携は!？住民生活は!？多くの機関、多くの職種の皆様方と共に考え、高知の1つ1つの地域包括ケア体制の具現化の一助となる研修会になればと思います。参加協力の程、よろしく願い申し上げます。

<日時> 平成28年2月7日(日) 受付 12:30 開会 13:00～閉会 17:00

<会場> 高知県人権啓発センター6階ホール(専用駐車場はありません)

高知市本町4丁目1-37 (丸の内ビル6階・高知県庁前通りを東へ)

<参加対象者> 老健施設職員、医療・介護・福祉に従事するすべての機関の全ての関係者

<参加費> 無料

### <プログラム>

#### 1、「高知県の医療政策の現状とこれから」について (50分)

講師: 伴 正海 氏 高知県健康政策部 医療政策課 主幹

#### 2、「地域包括ケアの必要性と医療・介護連携の意義」(90分)

講師: 逢坂 悟郎 氏 兵庫県丹波健康福祉事務所所長(リハビリテーション科専門医)

(前 厚生労働省老健局老人保健課 医療・介護連携技術推進官)

#### 3、グループワーク(40分) & 発表・助言(40分)

<申し込み・問い合わせ> 裏面をご覧ください。

平成27年度 高知県介護老人保健施設協議会  
＜多機関多職種協働研修会＞  
第3回研修会

FAX参加申込み先  
高知県介護老人保健施設協議会事務局

☆088-854-3151☆

＜締切り:1月30日＞

所属機関名	
電話番号	

	申し込み者氏名	職 種	役 職
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

＜お問い合わせ＞  
上記事務局 川田・林 まで  
電話:088-843-6007